

『これからの5年を考える』

西岳地区社会福祉協議会 会長 竹松 治男

西岳地区は、現在高齢化率60パーセントを超えている状況です。5年後はさらに、高齢化率が高くなります。その中でも、公民館をはじめ民生委員などの様々な協力を得て励まし合いながら助け合いながら皆さんが1日でも長く自分の家・地域で過ごせる努力をしていきたいです。

西岳地区社協 これからも続けていきたい活動

夏休み！のびのびスクール

学習支援事業「夏休み！のびのびスクール」を実施しています。地域住民と子どもたちの顔が見える環境づくりと普段と違った学びの場という目的で毎年夏休み期間に実施しています。講師も地域の方にお願ひし、それぞれの特技を活かした形で行っています。



地域医療セミナー

こけないからだづくりへの取り組みの発表会と地域医療に関する講演会を開催しています。各地区での取り組みや地域医療に関するセミナーで皆さん楽しく学ばれています。



こけない体操リーダー研修

毎年講師をお呼びして、楽しくできる介護予防（レクリエーション活動）をみんなで学んでいます。

楽しいお話や歌、ゲームを楽しく学び、また各地区に持ち帰っていただき日々のこけない体操の前後に導入していただき介護予防につなげています。



地域資源との協働活動

- ・ふれあい訪問活動
一人暮らしの高齢者世帯へ地域の小学生・民生員と一緒に訪問活動を行っています。
- ・はるおさんげえ（地域づくり部会）
西岳地区の居場所づくりや活性化のために様々な活動を行っています。「みんなが無理なくできる範囲で」という形で活動を行っています。



ふれあい訪問



はるおさんげえ

(80歳以上の方への弁当配布)

西岳地区スローガン

わいわい たのしく けんきよく 西岳

【基礎情報】(R2.5.1)

人口規模 (住基人口)	全 体	1,731人	世帯数	990世帯
	男 性	791人	自治公民館加入世帯	741世帯
	女 性	940人	自治公民館加入率	74.8%

【西岳地区の現状・課題】計画策定作業と「地域福祉に関するアンケート調査」結果より

○コロナ禍の影響・集まる場所について

- ・移動手段がなく、こけない体操などに来ることも大変さがある。今後もこけない体操は続けていきたい。地域の情報の共有の場になっている
- ・コロナ禍で、ふれあいの場が減って心配事や困りごとを共有する場が減っている。公の場より部落の力を借りて触れ合いの場を設け、つなげていくような仕組みづくりが必要

○日常生活について

- ・移動販売や福祉タクシーがあるが利用者が少ない。しかし、なくなると困る人がいる
- ・免許の返納をしたら、日常生活に支障が出る
- ・人にお世話になりたくないという人も多く、声掛けが難しいところもある。有償ボランティア等の導入を考えていきたい
- ・西岳は面積が広く、隣が遠い。広い西岳が今後さらに広がっていく可能性がある

○子ども・若い世代について

- ・子どもが少なすぎる
- ・若い人が働く場所がない（企業の誘致をお願いしているがなかなか進まない）
- ・便利さ（買い物、病院、学校）を優先して、他の地域に出てしまう

○今後について

- ・10年先は人がいなくなっているかも…
- ・西岳の未来についてオンラインなどでつないで会議ができるといい

○西岳地区の自慢・強み

- ・自分の事は自分でされる方が多いので高齢率は高いが介護保険を使っている方が少ない
- ・空気がきれいで自然が多く星もきれい。食べ物（米）もおいしい
- ・近隣の方と頼り・頼られる関係ができており、頼られるとうれしい
- ・地域のまとまりがあり、物事を進めるときの話の進み方が早い

西岳地区地域福祉活動計画

(計画実施期間・令和3年度～令和7年度)

計画スローガン (大項目)

㊦ いわい ㊦ のしく ㊦ んきよく 西岳

中項目	小項目	具体的な取り組み内容
1 からだがこけない、こころがこけない、地域がこけない地域づくりを推進します (地域づくり)	1-①これまで取り組んできた事業をさらに充実させていきます	継続)・いきいきサロン (いたっみる会) の推進 継続)・在宅介護者の集いの開催 継続)・のびのびスクールの開催 継続)・地域医療セミナーの開催 継続)・料理教室の開催、参加者の窓口を広げて実施していく
	1-②子どもへの支援や学校との連携に努めます	新規)・子どもたちと地域の方と交流できる新たな取り組み (新たな活動について学校などと連携し協議を行う)
	1-③助け合いのしやすい地域づくりをします	新規)・西岳版シルバー人材センターについての協議を始める 新規)・有償ボランティアの立ち上げを検討する
	1-④こけない体操を継続します	継続)・各地区自治公民館にてこけない体操を継続していく 継続)・こけない体操リーダーの養成、研修の開催
	1-⑤新たな事業の取り組みを検討していきます	新規)・高齢者の買い物・移動手段について検討する 新規)・誰でも気軽に立ち寄ることができる寄合の場の設置を検討する 新規)・西岳のイメージアップにつながる活動を考える
2 ボランティア育成やつながりづくりのため事業を充実していきます (人づくり・つながりづくり)	2-①ボランティア育成に取り組めます	新規)・有償ボランティア研修の実施 (R3)
	2-②若い世代を巻き込んだ活動を推進します	新規)・若い世代が参加したくなるようなイベントを行う
3 様々な関係機関・団体が協議できる場づくりに取り組みます (協議の場づくり)	3-①地区内の関係機関・団体等の連携を図ります	新規)・地区内関係機関団体意見交換会の実施 (R3～年2回) (行政や地元企業との協議の場の検討) 新規)・オンラインでの会議にも検討する
4 地域住民の困りごとに対応できる組織体制づくりを目指します (しくみ・体制づくり)	4-①事務局体制を充実強化していきます	新規)・社協役員体制の見直しを行う (各地区の情報共有ができるよう役員体制を整える)
	4-②広報 PR 活動を強化します	継続)・広報紙の発行 新規)・事務局開設チラシの作成 (R3～)